

巻頭言

鶏卵の出荷について

惣 津 律 士

本県の養鶏は近時急速な進展を示し、愛知県に次ぐ地位を確保するに到った。

総羽数150万、種鶏羽数25万、鶏卵生産量年365万貫、初生雛年300万羽と言う数字で、本県農畜産物中重要な地位を占めている。更に養鶏施設としては養鶏界の多年の要望であった県立養鶏試験場が近代的内容をもって発足し、新時代の要請に則応する事となっている。勿論民間施設も指定種鶏場1,359, 指定孵卵場56と言う盛況振りである。

さて本県生産卵の内245万貫が県外へ移出せられ、その大部分が阪神市場で取引されているが、この数量は前記市場の全取扱量の27%に達し、量的には第1位を占めている。併し乍らその取引状況を見ると他県に比し不利な状態にある事は予めから関係者の憂慮する所であって、その原因を見ると、品質そのものは一流県に比して優るとも決して劣らないが、荷造の規格が不統一で而も計画出荷の線にのっていない点の多い事を認めざるを得ない。

従ってこれ等の欠点を是正して岡山卵の声価を高揚する事の緊急性に鑑み、大阪経済事務所の発足を機に取引改善を強力に推進する事となり、荷受機関及び出荷機関の内に数次に亘る協議の結果、今般移出鶏卵の自主検査機構を確立する事に決定した事は新聞その他で御承知の通りである。

即ち岡山県移出鶏卵の検査を行うことによって鶏卵の合理的集出荷を促進し、県産鶏卵の販路を拡張して養鶏の振興に資する目的を以って岡山県移出鶏卵検査協会が設立されたのであって、現在会員は県経済連、養鶏連、移出商組の3団体となっているが、本主旨に賛同して鶏卵移出に関する事業を行

う団体はどしどし会員になり得るのであって、大いにこの機関を利用して戴きたいものである。

勿論上協会に於て移出鶏卵検査規定が制定されており、鶏卵の品質、大きさ、1箱の正味重量、個数及び包装について基準が示されている。本会の事業は検査員の委嘱、その他の準備が相当多いため11月1日から実施される予定であるが、本協会の適切な運営が岡山県産卵の取引市場に於ける優位性に大きい貢献をする日の近い事を祈って止まない。